

みやづ経済ダイジェスト

NO.3

平成22年7月
宮津商工会議所

1 宮津市の人口・世帯数(平成22年6月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

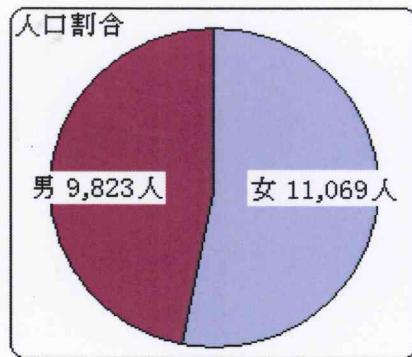
人口 20,892人(男:9,823人、女:11,069人)
(前年同月比 -222人)

世帯 8,829世帯
(前年同月比 +13世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

6月末の宮津の人口は、前年同月比-222人(-1.1%)
で20,892人となり、依然、減少傾向が続いている。

しかしながら、世帯数は対前年同月比+13世帯となり、
核家族化の傾向がみられる。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人件数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成22年3月	344	280	173	0.56	0.56	0.50
(前年同月比)	-11	+49	+2	+0.14	-0.05	-0.04
平成22年4月	317	173	115	0.43	0.49	0.45
(前年同月比)	-12	+8	-14	+0.08	-0.02	+0.01
平成22年5月	204	138	100	0.40	0.48	0.44
(前年同月比)	-14	+12	+31	+0.09	-0.01	+0.04

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は前年同月比で0.08~0.14増加しており、新規求人件数においても6ヶ月
続けて前年同月比で増加している。しかしながら、新規求職数は実数、前年同月比共に減少している。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人件数を月間有効求職者数で割ったもの。
この値が1より大きければ、求職者よりも求人件数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶ
ことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC交通量(綾部宮津道路)

	入口(台)	出口(台)
平成22年4月	52,079	53,511
(前年同月比)	+4,517	+4,993
平成22年5月	72,059	71,458
(前年同月比)	+7,116	+5,428
平成22年6月	54,685	55,348
(前年同月比)	+5,086	+5,395

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立IC利用者は高速道路割引及び京都縦貫自動車道の一部無料化(6/21~)により大幅な伸びを示している。

※トピックスにて縦貫道一部無料化、前後1週間の比較を掲載しております。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市営天橋立	智恩寺	パーキングはまち	籠神社
平成22年4月	321台(2台)	3,173台(354台)	9,589台(7台)	1,820台(801台)
(前年同月比)	-92台(-2台)	-872台(-41台)	+329台(+4台)	+454台(+68台)
平成22年5月	2,890台(7台)	4,188台(257台)	9,705台(9台)	2,485台(690台)
(前年同月比)	-60台(-11台)	-1,765台(-90台)	-20台(+2台)	+667台(+42台)
平成22年6月	312台(1台)	3,794台(632台)	10,447台(25台)	2,502台(873台)
(前年同月比)	-113台(-1台)	-283台(+216台)	+904台(+23台)	+1,295台(+186台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・株まちづくり推進機構・籠神社>

宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については減少した駐車場もあるが、全体の前年同月比では444台の増加であり、その内、バスの増加(3ヶ月間)は396台であった。

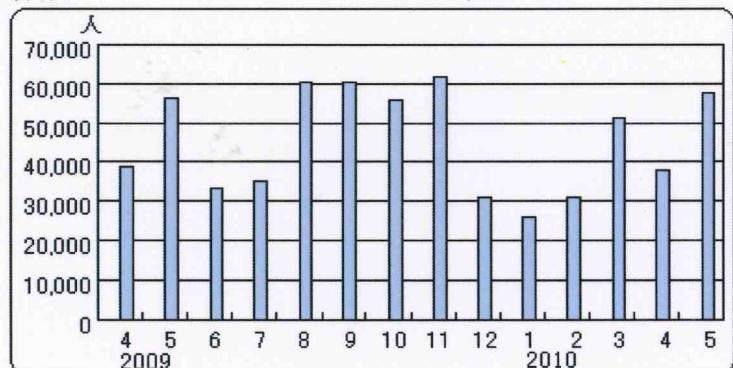
天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成22年4月	38,173人
(前年同月比)	-734
平成22年5月	57,571人
(前年同月比)	+1,239

※集計の都合により、4月・5月のデータのみ
<資料:丹後海陸交通株式会社>

利用客増加

4月の利用客数は前年同月比で-1.9%の減少であったが、5月は+2.2%の増加となった。

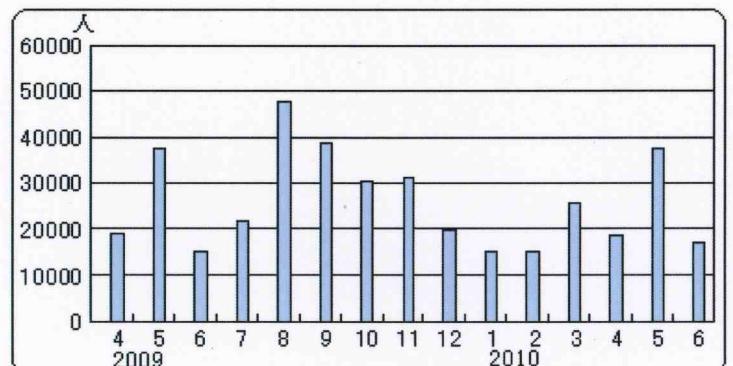


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成22年4月	18,938人
(前年同月比)	-199人
平成22年5月	37,665人
(前年同月比)	+175人
平成22年6月	17,278人
(前年同月比)	+1,995人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

4月の利用客は若干減少となつたが、5月、6月共にその月の過去最高の利用客数であった。



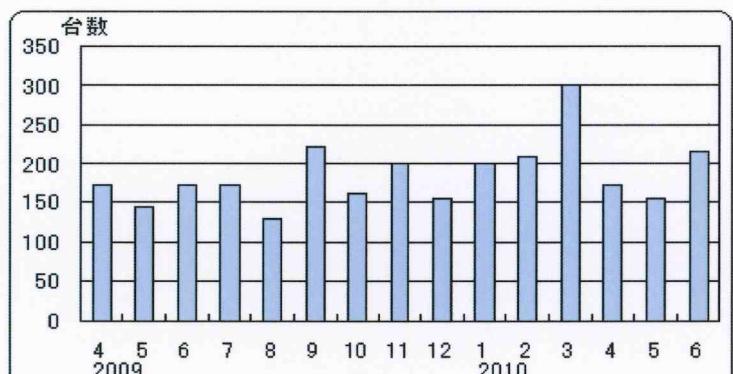
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成22年4月	173台
(前年同月比 0台)	
平成22年5月	156台
(前年同月比 +11台)	
平成22年6月	215台
(前年同月比 +43台)	

<資料:宮津警察署>

宮津与謝管内の車庫証明申請台数は、人口が減少しているのにも関わらず増加している。



5 トピックス

①京都縦貫自動車道の一部無料化に伴う利用交通量の変化について

	綾部宮津道路区間別利用交通量		丹波綾部道路区間別利用交通量	
	北区間 宮津天橋立～舞鶴大江	南区間 舞鶴大江～綾部JCT	北区間 綾部JCT～綾部安国寺	南区間 綾部安国寺～京丹波わち
6/21～6/27 一部無料化前	24,999 台	24,006 台	19,159 台	20,147 台
6/28～7/4 一部無料化後	27,309 台	27,218 台	24,835 台	23,559 台
増減	+2,310 台 (+9.2%)	+3,212 台 (+13.3%)	+5,676 台 (+29.6%)	+3,412 台 (+16.9%)

②『宮津市プレミアム商品券』発行事業

- 1)販売セット数 12,000セット 金額 1億2,000万円
(プレミアム込みの総額 1億3,200万円)
- 2)取扱店舗数 241店舗(平成22年7月6日現在)
- 3)販売期間 6月15日(火)～7月1日(木) 17日間で完売。
- 4)使用期限 9月15日(水)まで
- 5)換金状況 第1回目 6月23日(水) 32事業所 11,163枚
第2回目 7月5日(月) 49事業所 35,982枚

③宮津景況調査アンケート(調査期間 平成22年4月～6月) 回答企業数 30社

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上にアンケートをお願いした。

問1 今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

- ・建設業 全ての項目について増加が無く、業界全体が不景気である。今後実行しようとしている改善策では、「得意分野」、「専門分野」の強化を挙げる企業が多い。
- ・小売業 「売上額」については83%、「今後の売上見込」を67%の企業が「やや減少」としている。現在直面している経営上の問題点として、「人口の減少」、「社員教育・指導」を挙げる企業が複数ある。
- ・卸売業 「仕入単価」について67%の企業が「やや減少」としているが、「売上額」増加は17%となっており。現在取組んでいる改善策として、「経費節減」を挙げている企業が多い。
- ・製造業 「売上額」については57%の企業が「やや減少」としているが、「今後の売上見込」について43%の企業が「やや増加」とし、景気回復の兆しが見える。
- ・サービス業 「採算」について50%の企業が「やや減少」となっている一方、38%の企業が「やや増加」としている。今後実行しようとしている改善策として、「人材育成」を挙げる企業が複数ある。

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・売上の減少
- ・赤字解消

◇小売業

- ・エネルギー転換
- ・売上減少
- ・宮津市の人口減(世帯減)(2件)
- ・地域の活力(消費力)が心配
- ・社員教育・指導(2件)

◇卸売業

- ・売先(小売店、飲食店等)の減少
- ・需要の停滞⇒売上の減少
- ・設備の老朽化
- ・消費の冷え込みによる売上減
- ・原料UPによる原価のUP⇒採算の悪化
- ・交通事情が大幅に変化している為、飲食店の運営も大変波があり、仕入れ等が難しい

◇製造業

- ・小売店の減少
- ・ロットの減少、単価の上昇難
- ・不況感の払拭
- ・売上減少、利益減

◇サービス業

- ・高速道路無料化による車の流れ
- ・サービスの独自性の追及の不備
- ・経営理念の浸透が不十分
- ・設備投資(更新、修理)、人件費コントロール
- ・人材育成の未熟性
- ・新しい商品の企画、開発
- ・総トータルの仕事量の激減
- ・支払い(入金)スパンの長期化による運転資金の確保
- ・総トータルの仕事量の激減
- ・人員増で売上が増加しているが、単価が低迷しており、人件費比率が上昇している

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等が有りましたら記入して下さい。

○現在取組んでいる改善策

◇建設業

- ・経費節減(2件)
- ・専門分野での一層の技術強化
- ・得意分野の強化

◇小売業

- ・経費節減に努め、業務の効率化を図る
- ・定期的な勉強会・ミーティングの実施
- ・社員教育・指導による営業強化
- ・販路拡大
- ・経費節減(2件)
- ・不良在庫の現金化

◇卸売業

- ・経費節減(3件)
- ・ネット事業による販路拡大
- ・販路拡大(丹後だめ、小浜市・篠山方面)
- ・小売部門の強化
- ・店舗数増やす⇒売上の強化
- ・サービスの質向上、従業員の意識改革(特にパート従業員)(社内的な事項を中心に改善している)

◇製造業

- ・新規機械の導入による省力化
- ・経費の節減と人材育成
- ・新規事業による売上増
- ・生産の効率化、技術の向上

◇サービス業

- ・我社のオンリーワンの追及
- ・販売拡大対策(過去にとらわれない)
- ・経費見直し(過去にとらわれない)
- ・接客接遇の改善
- ・本業を活かしてその延長線上での別分野への営業拡大
- ・同業種他社との合同による新商品の開発及び、その商品のネットによるPR、販路拡大
- ・経費節減(2件)
- ・業務改善
- ・全ての事にはそれなりに取組んでいる

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・新規事業
- ・営業の強化

◇小売業

- ・関連業務の業務拡大
- ・新規事業の展開
- ・作業効率アップにより、経費節減
- ・新商品の投入
- ・経費節減
- ・得意分野の強化

◇卸売業

- ・経費節減を更に強化
- ・大手ユーザーへの開発
- ・東京への出店計画
- ・得意分野の強化(現在取組んでいる改善策を活かした形で)
- ・商品の充実
- ・商品の回転率UP

◇製造業

- ・人材育成
- ・能力UPの設備新設を検討
- ・新商品開発(2件)

◇サービス業

- ・PDCAを着実にまわせる人材育成
- ・ターゲット拡張策
- ・人件費対策として、直接雇用(パート)の確保
- ・人材育成に力を入れ、拡大分野への営業力とスキルを身に付け、縮小経済へ対応する
- ・同業種他社との合同による新商品の開発及び、その商品のネットによるPR、販路拡大の一層の強化
- ・関係機関との連携による利用者獲得
- ・広域を視野に入れる

問4 府・市・会議所への要望。

◇小売業

- ・地元商店街・商店への振興対応
- ・老齢化に伴う人口の減少
- ・農業や漁業ばかりが保護されるのはおかしい。商売人にも安心できる低金利の借入枠を

◇卸売業

- ・宮津朝市の「道の駅」化
- ・「みやづ」の対外的なPR作戦
- ・中小企業の業種全般に活用される援助策を希望する(特定業種偏っているように感じる)また、それを広く啓蒙して頂きたい
- ・はままちパーキングの無料化(または天橋立との共通駐車券)
- ・宮津の観光地設備の強化(駐車場、看板、広告など)
- ・観光客にお金を落してもらうために、市民をあげて美しい町づくりに取組む
- ・市がもっと積極的に地元業者への発注をすべき
- ・地産地消

◇製造業

- ・観光の振興と入り込みの集客
- ・情報の共有化による変化への対応
- ・設備新設資金の援助、又は貸与

◇サービス業

- ・中小企業の成長、発展の為に総力を注ごう
- ・活性化(誘致活動)
- ・地元企業への雇用促進対策
- ・多方面に関する規制緩和
- ・宮津天橋立IC～丹波わちIC無料化の要望
- ・あらゆる情報の開示と金融機関への働きかけ
- ・市全体の取組により、観光事業の拡大、PR